

Cryopreservation Conference 2016

プログラム

11月10日(木)

12:00 - 13:00 受付
13:00 - 13:10 開会の挨拶 山本 正幸 (基礎生物学研究所 所長)

セッション 1

座長: 菊地 和弘

- 13:10 - 13:40 ネムリユスリカの耐性機構を応用した常温乾燥保存技術開発の可能性
黄川田 隆洋 (農研機構 生物機能利用研究部門 生体物質機能利用技術開発ユニット)
- 13:40 - 14:10 フリーズドライによる哺乳動物精子長期保存法の開発とその応用
金子 武人 (京都大学 大学院医学研究科附属動物実験施設)
- 14:10 - 14:40 凍結乾燥によるウシ体細胞の保存とその応用
松川 和嗣 (高知大学 農林海洋科学部)
- 14:40 - 15:10 植物培養細胞の乾燥保存
菅原 康剛 (埼玉大学)
- 15:10 - 15:30 Coffee Break (集合写真撮影)

セッション 2

座長: 藤川 清三

- 15:30 - 15:45 乾燥耐性生物クマムシとネムリユスリカの放射光 μ CT・共焦点・電顕による相関顕微鏡解析
八田 公平 (兵庫県立大学 理学部)
- 15:45 - 16:15 検体試料の常温乾燥保存法と保護物質の特性
白樫 了 (東京大学 生産技術研究所 機械・生体系部門)
- 16:15 - 16:45 トレハロースやLEAタンパク質により誘導されるアンヒドロビオシス状態の物理化学
櫻井 実 (東京工業大学 バイオ研究基盤支援総合センター)
- 16:45 - 17:00 高純度魚類不凍タンパク質を用いた細胞保存技術の創生
津田 栄 (産業技術総合研究所 生命工学領域 生物プロセス研究部門)
- 17:00 - 17:15 合成両性電解質高分子による凍結保存
松村 和明 (北陸先端科学技術大学院大学)
- 17:15 - 17:45 高分子ゲル中における氷晶形成とガラス化
村勢 則郎 (東京電機大学 理工学部 生命理工学系)
- 17:45 - 17:55 Coffee Break

ポスターセッション

17:55 - 18:25 ポスター番号: 奇数
18:25 - 18:55 ポスター番号: 偶数

懇親会 18:55 - 20:30

11月11日(金)

セッション 3

座長：白樫 了

- 08:30 - 09:00 ガラス化保存法の研究:過去、現在、将来
高橋 恒夫 (京都大学 再生医科学研究所 胚性幹細胞部門)
- 09:00 - 09:15 ガラス化保存への過冷却促進物質の応用
藤川 清三 (北海道大学)
- 09:15 - 09:45 過冷却水の構造と動力学
斉藤 真司 (分子科学研究所)
- 09:45 - 09:55 Coffee Break

セッション 4

座長：成瀬 清

- 09:55 - 10:10 豚におけるガラス化胚保存の意義と現状
池谷 幸恵 (鹿児島県 農業開発総合センター 畜産試験場 中小家畜部 養豚研究室)
- 10:10 - 10:25 ブタにおける配偶子保存研究の取り組み
菊地 和弘 (農研機構 生物機能利用研究部門 動物機能利用研究領域)
- 10:25 - 10:40 生産性向上に関するウシ精子及び初期胚の超低温保存方法の検討
高橋 利清 (秋田県 農林水産部畜産振興課)
- 10:40 - 10:55 浸透圧が極めて高い保存液を用いた卵巣のガラス化凍結保存
枝重 圭祐 (高知大学 農林海洋科学部農芸化学科)
- 10:55 - 11:10 ラット豚島の保存に対するCryotopガラス化法とBicell凍結法の適性比較
山中 貴寛 (信州大学 大学院 総合理工学研究科)
- 11:10 - 11:20 Coffee Break
- 11:20 - 11:35 霊長類における受精卵と精子の凍結保存
外丸 祐介 (広島大学 自然科学研究支援開発センター)
- 11:35 - 11:50 Studies on the effects of chemical and physical treatments on the permeation of the cryoprotectant dimethyl sulfoxide into Japanese whiting (*Sillago japonica*) embryos
Sheikh Mustafizur Rahman (東京海洋大学 大学院海洋科学技術研究科)
- 11:50 - 12:05 両生類の遺伝資源を保全するための統合的な技術開発
柏木 昭彦 (広島大学 大学院理学研究科 附属両生類研究施設)
- 12:05 - 13:00 昼食

セッション 5

座長：田中 大介

- 13:00 - 13:15 担子菌株のL-乾燥法開発への試み
佐藤 真則（製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジーセンター）
- 13:15 - 13:30 乾燥法によるブナ種子の超低温保存
遠藤 圭太（国立研究開発法人 森林総合研究所 林木育種センター）
- 13:30 - 13:45 形質転換樹木の超低温保存技術に関する基礎研究
荒川 圭太（北海道大学 大学院農学研究院）
- 13:45 - 14:00 シダ植物ケラトプテリスカリスの超低温保存の試み
三國 智葉（東京電機大学 大学院理工学研究科）
- 14:00 - 14:15 ゼニゴケを「スリープ」させる
大和 勝幸（近畿大学 生物理工学部）
- 14:15 - 14:25 Coffee Break

セッション 6

座長：川口 正代司

- 14:25 - 14:40 NBRCの生物遺伝資源保存事業について
中川 恭好（製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジーセンター）
- 14:40 - 14:55 農業生物資源ジーンバンク事業
根本 博, 田中 大介（農研機構 遺伝資源センター）
- 14:55 - 15:10 理研バイオリソースセンターのマウス胚・精子保存とバックアップ体制
およびガラス化保存の可能性について
持田 慶司（国立研究開発法人 理化学研究所 バイオリソースセンター 遺伝工学基盤技術室）
- 15:10 - 15:25 岡崎牧場における鶏遺伝資源の凍結保存の現状
新實 竜也（独立行政法人 家畜改良センター 岡崎牧場）
- 15:25 - 15:55 起きてからでは遅い！防災対策
熊本地震における熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究施設(CARD)の被害状況と対応
「4万5千匹のマウス、100万個の凍結胚、3万本の精子はこうして守られた！」
中瀬 直己（熊本大学 生命資源研究・支援センター）
- 15:55 - 16:05 閉会の挨拶 川口 正代司（基礎生物学研究所 IBBPセンター長）
- 16:15 - 17:15 施設見学：基礎生物学研究所 IBBPセンター（希望者）